（仮称）杜鵑峡小水力発電所　事業性評価調査

1. 事業の目的

天竜川水系滝ノ湯川において、基本設計、地質調査、地形測量、正常流量調査、関係者意向調査を実施し、各調査結果を踏まえより精度の高い事業性評価を行う。

2. 事業の内容

（1）事業者名
株式会社グリーン電力エンジニアリング

（2）事業名
（仮称）杜鵑峡小水力発電所事業性評価調査

（3）事業期間
平成 29 年 7 月 31 日 ～ 平成 30 年 2 月 26 日

（4）調査を実施する発電設備の概要
a.発電形式 ： 水路式（流れ込み式）
b.使用水量 ： 1.36m^3/s
c.有効落差 ： 21.4m
d.出　　力 ： 199kW

3. 平成 29 年度の事業実施概要

①基本設計
発電計画各設備の配置、発電規模を決定し、事業規模を算出する。

②地質調査
施設整備における要所の地質データを取得し、施工に必要な情報を取得する。

③地形測量
取水予定地点から発電所予定地点までの区間について実施。落差や配管ルートの地形情報を取得する。

④正常流量調査
現地調査結果を元に維持流量および正常流量を設定する。

⑤関係者意向調査
関係官庁および地権者、水利権者との協議を行い、必要手続きや課題点を確認する。

4. 事業の成果等

①基本設計
配管ルート及び各設備の配置を選定し、本事業の総事業費を把握することが出来た。

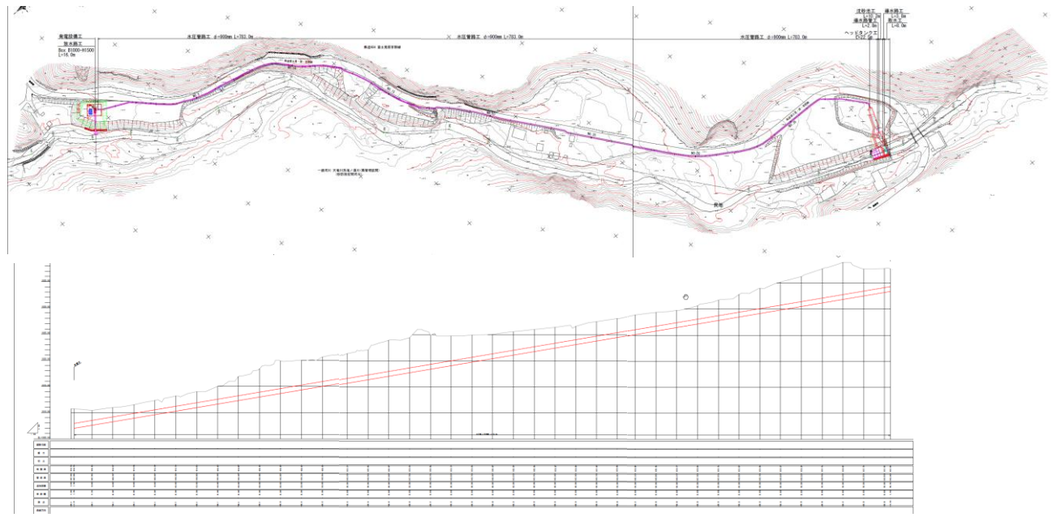
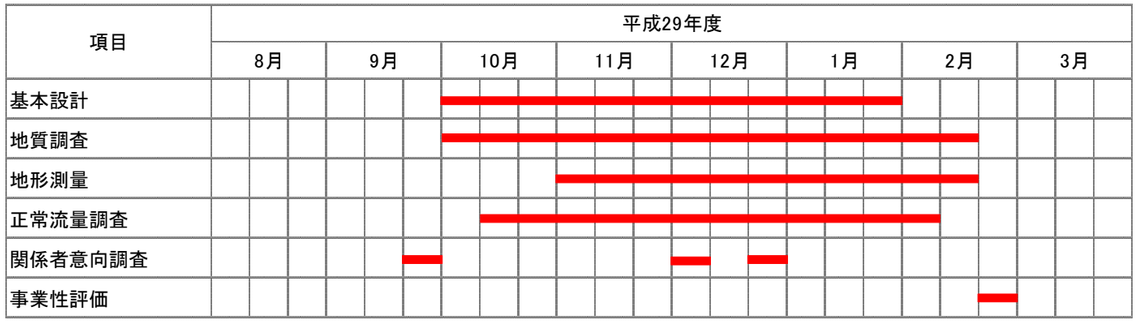
②地質調査
基本設計に基づく施工を検討する際に必要な地質情報を入手でき、計画に支障ないことが確認できた。

③地形測量
本発電計画のより詳細な落差、周囲の地形状況を把握することが出来た。

④正常流量調査
現地調査より維持流量および正常流量を把握することが出来た。

⑤関係者意向調査
砂防指定地内への施設の設置に伴う検討事項が把握できた。また、農業用の水利については、必要な流量を確保することで事業への反対はないことが確認できたが、水利流量の正確な把握が今後の課題である。

⑥事業性評価
本事業の調査から事業の経済性を検討した結果、可能性のある計画であると判断された。今後は地権者や水利権者、および関係機関との調整を進めながら、事業化に向けた調整を進めていく予定である。



5. 事業スケジュール